



～三谷小の校庭を知り尽くす 大西路男さん～

校庭で黙々と作業をされている大西さんをご紹介します！

生まれも育ちも杉並区高井戸、戦争真っ最中に高井戸小学校（当時は国民学校）を卒業した。戦後は農家の畑を借りて野菜や穀物を作り、ヤギやウサギを飼って農家のような生活をしていました。

上井草へ来て約50年。子供や孫たちが三谷小のお世話になった。三谷小には、畑もありギンナンも採れ、ビオトープからはトンボが飛び立ち（平成9年、区内で初めてのヤブヤンマをライオン池で発見）まだ自然がいっぱいある。また、校庭に馬がきて、自分たちで育てたニンジンをあげるという珍しい学校。畑や外仕事の好きな私はもってこいの学校で、子供たちと一緒に野菜を作ったりして逆に元気をもらっている。ボランティアをしているというより、ボランティアをさせてもらっているという感謝の気持ちである。

三谷小が会場となる選挙が行われる前などは、校庭をきれいにしてくださっています。

～おやじの会 パドレス～

鮮やかなグリーンのTシャツに帽子をかぶり、三谷小児童の為に活動されています。縁の下の力持ち！



三谷小学校

学習サポート部門

夏休みラジオ体操は2年目。参加人数も増え、定着しました。

運動会にたくさん的人が座って観覧できるように石段（スタンド）清掃活動。

地域の底力部門

「さんこら」は3つの部門で学校を支援しています。

キッズわくわく部門

学校支援・地域共生本部

グローバルキッズ始動！

12月7日(土)62名の児童が集まり、グローバルキッズクラブが始まりました。大場先生よりクリスマスのお話を聞いた後、クリスマスソングを歌いながら自己紹介♪さっそく笑顔があふれていました。



What is your name?



自分のブーツを作り、お菓子を入れてもらいました♪

Candy please

『スウェーデンでは、クリスマスの朝「〇〇〇」を食べます！』『三文字のものです。何でしょう！』(答えは↓)楽しく、クイズ形式にしながら、スウェーデンのクリスマスについて話をしました。

「世界的視野をもった子供たち」と名付けられたこのクラブでは、英語を使用するだけではなく、いろいろな国の文化に触れていきます。毎回、違う国をテーマにし、その国の挨拶、食べ物、行事などを紹介します。1つの考え方、1つの生き方にとらわれのではなく、多様な価値観を受容できる素地を育てていきます。参加する子供たちが、将来「世界へ巣立つ」ことを願っています。

3年2組担任 大場ありさ

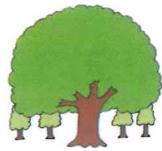
（以下「以下」略）

三谷小学校学校支援・地域共生本部 “さんこら” 通信

さんこら

Vol. 18

平成25年12月



コラボレーション・エナジー ～いっしょに成長 地域と学校～

○ 学習サポート

さんやスマイルレポート

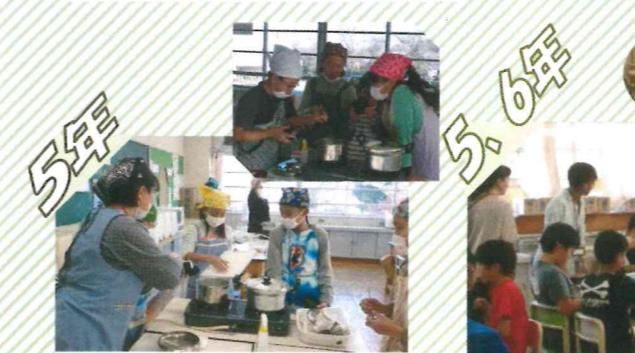
支援本部は今年度も、地域、保護者の皆様のお手伝いをいただき、様々な授業の支援をおこなっています。



マスクの中には1年生保護者の方に入っていただきました。



《かけ算九九》 検定
頑張って練習した九九
言えるかな？ドキドキ検定



《調理実習》 見守り
富士学園で作ったお米を鍋で炊き、味噌汁を作り、給食と一緒にいただきました。

《ミシン実習》 見守り
5年生はエプロン、6年生はマイバッグを作成しました。

《職場体験》 体験依頼、引率
三谷小学校の近隣施設やお店、16か所の方々に協力をいただき、様々な体験をおこなう事ができました。

○ 学習サポート

～ゲストティーチャーのご紹介～

今年度もゲストティーチャーとして、多方面でご活躍されている方を授業にお招きしています。児童は貴重なお話を聞いたり、様々な体験をしています。

桃四・三谷合同授業 6年 “12歳のハローワーク”

6月21日、今年度は三谷小にて桃四小、三谷小6年生の合同授業が行われました。3グループに分かれ、その道のプロの方のお話をうかがいました。



ベビーリーフ、サラダ素材の水耕栽培

『心に食の楽しみを！そして農業のみらいのために！』

野菜が好きで、自分の育てた新鮮な野菜を収穫するときにやりがいを感じると語る福井さん。日本の農業を元気にしようと独自のスタイルで起業されました子供たちは水耕栽培にとても興味をもったようでした。自分よりも若い君たちが食や農業について関心をもって勉強して欲しいとおっしゃっていました。



農業経営の仕事
(株)グリングリン 福井 航さん

お話の様子は(株)グリングリンのブログにも載っています。

授業の後は給食を食べながらの交流タイムになりました。



杉並区発！夜光塗料で世界を照らすオンリーワン技術

蛍光塗料は使われる場所、目的により多種多様になっていますが、根本特殊化学ではそれを粘り強い研究により開発してきました。避難誘導灯など暮らしの中の安心・安全にかかるものを、全世界で使ってもらいたいとの思いで、お仕事をしていらっしゃるそうです。

子供たちは、「蛍光塗料の役割は素晴らしい」、「長い年月を、あきらめずに開発を進めた社長さんや開発者の方々に感謝した」という感想が寄せられました。



技術の仕事
根本特殊化学(株) 石松浩一郎さん

蛍光塗料が使われている板を光に向ける児童。みんな腕いっぱい伸びていました。



毎日が訓練！始めはあっても終りはない。

「仕事には情熱をもって」と熱く語る八木さん。いかに迅速に救出できるかを日々考え訓練を行っていらっしゃいます。若い人材を育てる上の基本は、朝食をきちんと食べるというような生活習慣の指導だそうです。ロープワークで人を持ち上げる実践もしてくださり、子供たちは実際のレスキューの現場についての質問が多く出ました。八木さんは、現場で一番大切なのはチームワークだと強調していました。



隊員の育成で大事なことは怪我をさせないこと。自分は、現場で指を切断してしまった。

人命救助の仕事
消防レスキュー隊 八木義孝さん

3年 習字



習字書き方指導者
渋谷恵先生

習字って楽しい！
と子供たちが感じる1時間です。

6年 伝統音楽



伝統文化子ども教室講師、
高谷浩子先生

尺八の先生もお呼びし、その音色からいろいろなものを感じっていました。
「さくらさくら」の演奏もできました。

3年～6年 体育



早稲田大学ラグビー部

思いっきり体を使いタックル！
男子も女子も普段はやらないラグビーを3年生から毎年体験しています。

5年 “この町大好き上井草”

杉並区でも縁多い豊かな自然環境にある、上井草地域周辺の、特色ある歴史等を織り込み、上井草商店街の歴史や成り立ちや今までどんな取り組みをしてきたかをお話いただきました。

自分たちの住む町の商店街はどんな商店街だといいのか、【あったらいいなこんなお店】の要望や疑問・質問にお答えいただきながらの交流授業でした。

人々がこの町に暮らし、安心して住みたいと思うような、もっと魅力ある商店街作りを目指していくと、お話されていました。



4年 “点字学習”(お札状を書こう)



総合的な学習の時間「やさしさいっぱい！心のバリアフリー」を通して交流を深めた視覚障害の河相富貴子さんにサプライズを企画。一人一人が点字でお札状を差し上げたいとの思いで、一生懸命点字に取り組みました。



ボランティア点字グループ「さざんか」の武田常和さん、福田愛子さん、豊田功子さんにご指導していただきました。



②「え～？聞こえないよ」

3年 “高齢者擬似体験授業”



「年をとるってどんなこと？」

体で感じる未来のわたしたちと題して、杉並区地域包括支援センター「ケア24上井草」の藤山所長を始め、民生児童委員・民生主任児童委員・地域ボランティア・支援本部・PTAなど多くの方のサポートを受けて行われました。



①後ろ姿はまさに高齢者。



③「お財布からお金を出すのも大変だね」



④「何て書いてあるのかな？」



保護者の方にも体験していただきました。いかがでしたか？

